

オルニコットちゃん

さりげなく、ともに生きる!!
「おもいやりの町、しもすわ」をめざして。

2015年7月号
No.217

社協だより

発行人・渡邊末廣 編集・社会福祉法人下諏訪町社会福祉協議会



社協事業のご理解と会費のお願い

町民の皆様には、常日頃から社会福祉協議会に対し、深いご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

下諏訪町社会福祉協議会（以下、「社協」）は、五月二十七日（水）に理事会、五月二十八日（木）に評議員会を開催し、平成二十六年度事業報告と決算報告をそれぞれ可決、承認されました。

社会福祉協議会は、高齢者、障がい者、児童、低所得者だけでなく、住民の皆様の福祉問題等に対し、保健福祉に關係のある行政・民間の各種機関・団体と相互協力、協働活動をすすめ、社会資源のネットワーク化を図り、福祉問題の解決に取り組んでまいりました。

また、独居世帯や高齢者一人だけの世帯の増加、高齢者等の孤立死などの社会問題が増加し

ている中、「助けあおう・支えあおう」とする地域のみなさまと協力、連携しながら各種事業に取り組んでまいりました。

今年も、町民の皆様に社協会費をお願いする時期になりました。

「社協会費」は、昭和五十一年に社協が、より地域の皆様と手を携えて福祉を進めていくよう、区長会や地域の様々な団体の推薦を受け、社会福祉法人となつた時に全世帯が会員となりました。それ以来、会費へのご賛同をお願いをしてきた経過があります。

又、平成七年度の地域懇談会で現在の金額とさせていただきました。

経済変動の激しく大変な時期ではありますが、社協の活動をご理解いただき、ご協力をお願ひ申し上げます。



ご協力よろしく
お願いいたします

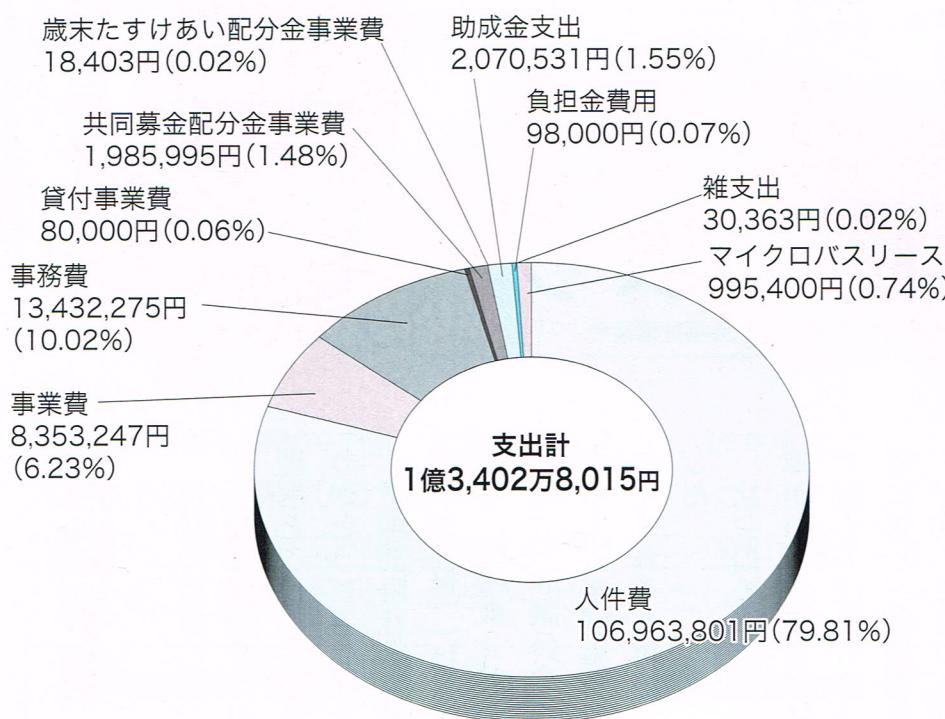


「湯めぐりバス」の運行を開始しました。

平成二十六年度

社会福祉事業会計収支状況

平成二十七年五月二十七日の理事会及び五月二十八日の評議員会で承認された、社会福祉事業会計の平成二十六年度決算です。



ご協力ありがとうございました

○にここにこ昼食会
食の自立支援や閉じこもり予防を目的に、地域のボランティアさんとともに実施しています。平成26年度から新しく始まつた明新館と四王公会所を含め、町内16会場で開催しております。
延べ1477人の参加がありました。

○社協健康教室 ○けんこう男塾
社協健康教室は、身近な地域での健康づくりや閉じこもり予防を目的に、町内11会場で開催して延べ1805人の参加がありました。
けんこう男塾は、より男性に焦点を当てた運動教室で、延べ123人の参加がありました。



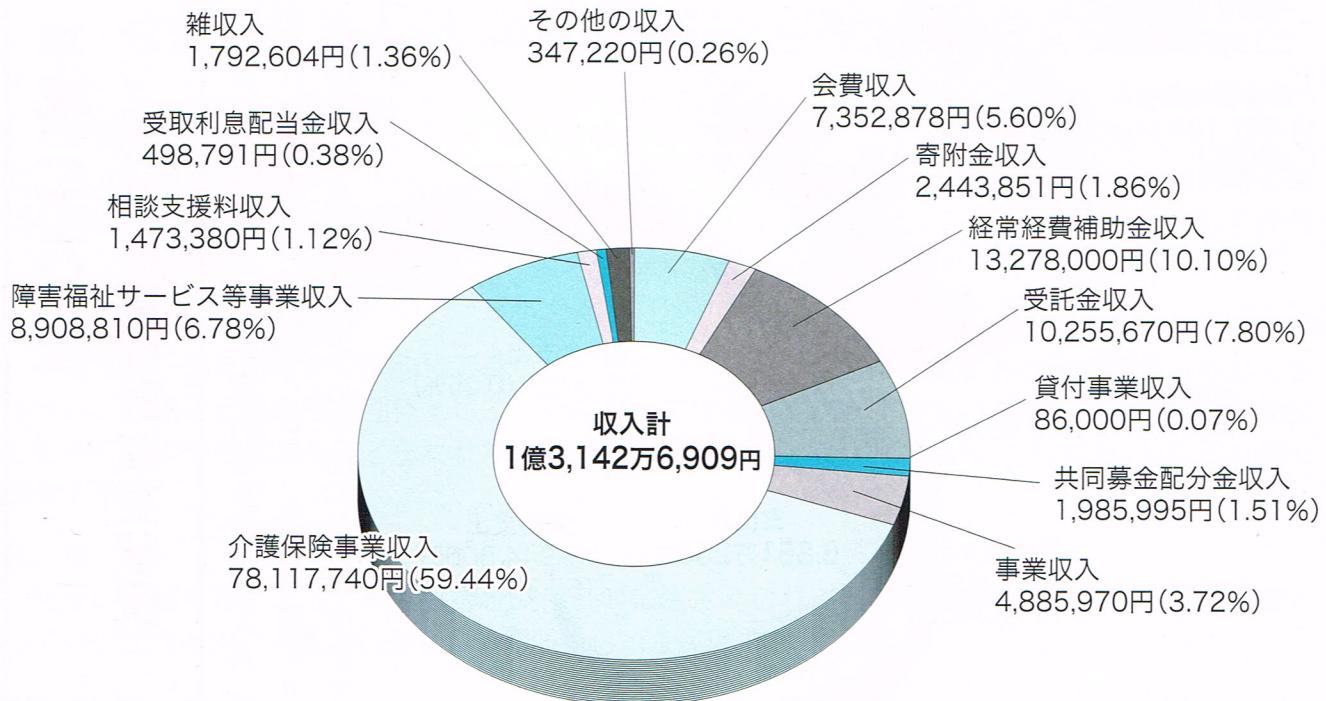
○ふれあい・にここにこ買い物ばす
毎月第1・第3火曜日に第6区・第9区のご自分で買い物に行くことが困難な人を対象に運行しました。延べ237人の利用がありました。



○男性介護者交流事業
○男性介護者のつどい
家庭で介護をしている人の、心身のリフレッシュを目的に、茶話会や旅行を行い、延べ54人の参加がありました。
男性の介護者を対象としたつどいでは、延べ21人の参加がありました。

○男性の居場所づくり事業

男性が気軽に集える場所や仲間づくりの場所をつくり、閉じこもり予防や健康増進、社会貢献活動を行っていくことを目的に実施しています。32人の登録者がおり、ウォーキングやマ



平成26年度事業報告（一部抜粋）

○ひとり親家庭応援事業

町内のひとり親家庭を対象に、親子の思い出づくりや親同士の交流の場づくりをしています。延べ77人の参加がありました。

○社会福祉普及校指定事業

町内の小・中学校、高等学校及び養護学校を社会福祉普及校に指定して、各校の児童や生徒の社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やしさ」を養う取り組みに協力させていただいています。

○ボランティア活動の推進

下諏訪町ボランティア連絡協議会と連携して、ボランティアの育成をすすめたり、災害に備え、災害ボランティアセンター設置訓練の開催や地区灾害ボランティアの会の組織化を進めています。

また、夏休みに合わせて、「サマーちやれんじ」事業を実施して、学生を中心には積極的にボランティアに参加していただきました。

○福祉総合相談事業

一般相談及び心配ごと相談は、56件、結婚相談は233件の相談がありました。

また、成婚は、2組ありました。

○生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金は、低所得世帯、障がい者、高齢者世帯などに、経済的自立や生活意欲の助長、社会参加の促進を図り、安定した生活を目指すことを目的とした資金です。

都道府県社会福祉協議会が実施主体で、市町村社会福祉協議会が窓口となって実施しています。

○日常生活自立支援事業

認知症や障がいがあり、判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理などのお手伝いをしています。

○指定特定相談、指定障害児相談支援事業

平成26年度から、新しく始まった事

業です。

障がいのある方の障がいサービス利用の計画や相談業務を実施しています。

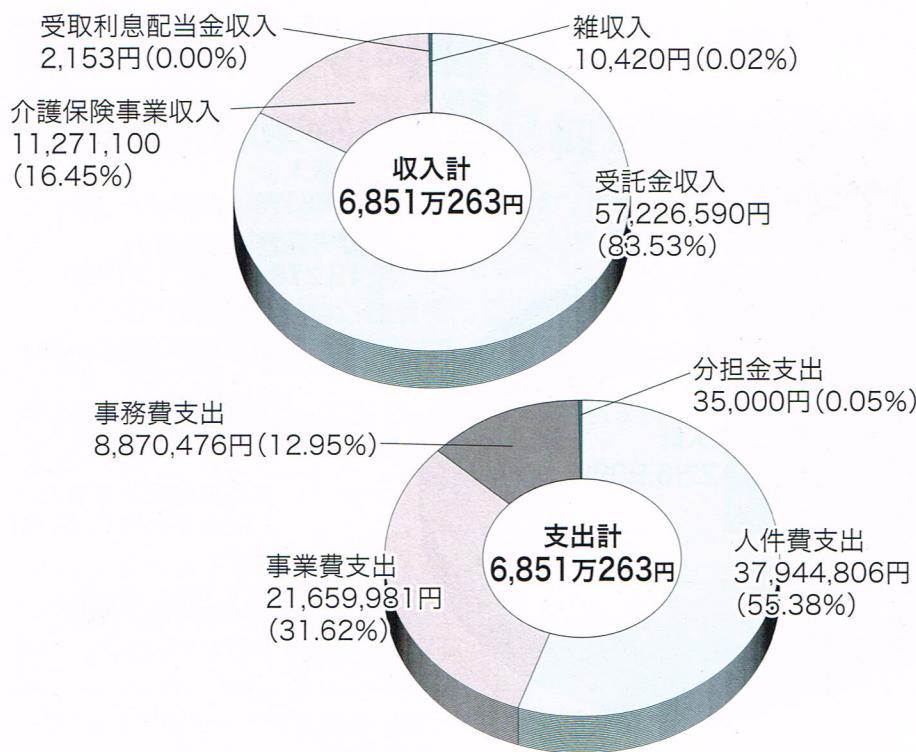
○介護保険事業

居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所の3事業所で、サービスを実施しています。

平成二十六年度

公益事業会計収支状況

平成二十七年五月二十七日の理事会及び五月二十八日の評議員会で承認された、公益事業会計（地域包括支援センター）の平成二十六年度決算です。



平成26年度事業報告

ご協力ありがとうございました

○介護予防ケアマネジメント

町内の、介護保険認定結果が要支援1・2の方390人のうち、219人のケアプランを作成しました。

○総合相談・権利擁護相談

介護の相談や認知症についてなど、述べ572件の様々な相談に対応しました。また、虐待や成年後見制度についてなどの相談に、述べ156件の相談に対応しました。

○地域個別ケア会議

個別の事例を通して、地域で誰もが暮らしつづけるために地域でできることや、足りないサービスは何かを、地域の皆様や専門職で話し合いをし、行政へ提言しました。（計3回実施）

○包括的・継続的ケアマネジメント

町内のケアマネージャーを中心に年12回の学習会実施を支援。

○二次予防通所型・訪問型介護予防

運動・栄養・口腔機能・認知症予防など介護状態にならないための予防教室を町内外6か所の施設にて実施をし、166人が参加しました。

○介護予防講演会

諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授をお招きして「ボケない脳のつくり方」（脳は筋肉のように鍛えられる）」をテーマに町民230人が聴講しました。

その後、いき元気健康教室にて2回にわたり実践編として実際に身体や脳を動かす教室を2回開催し、

述べ292人が参加しました。

○食の自立事業「知つとく生活」

（認知症予防編（食事と運動））諏訪湖畔病院にて実施。30人が、認知症を予防する取り組みに参加しました。



○地域見守りネットワーク 「ご近所の輪事業」

介護保険制度では扱いきれないゴミ出しや話し相手などを、ボランティアさんが支援しました。計326回実施しました。

社会福祉法人 下諏訪町社会福祉協議会の概要

1、沿革

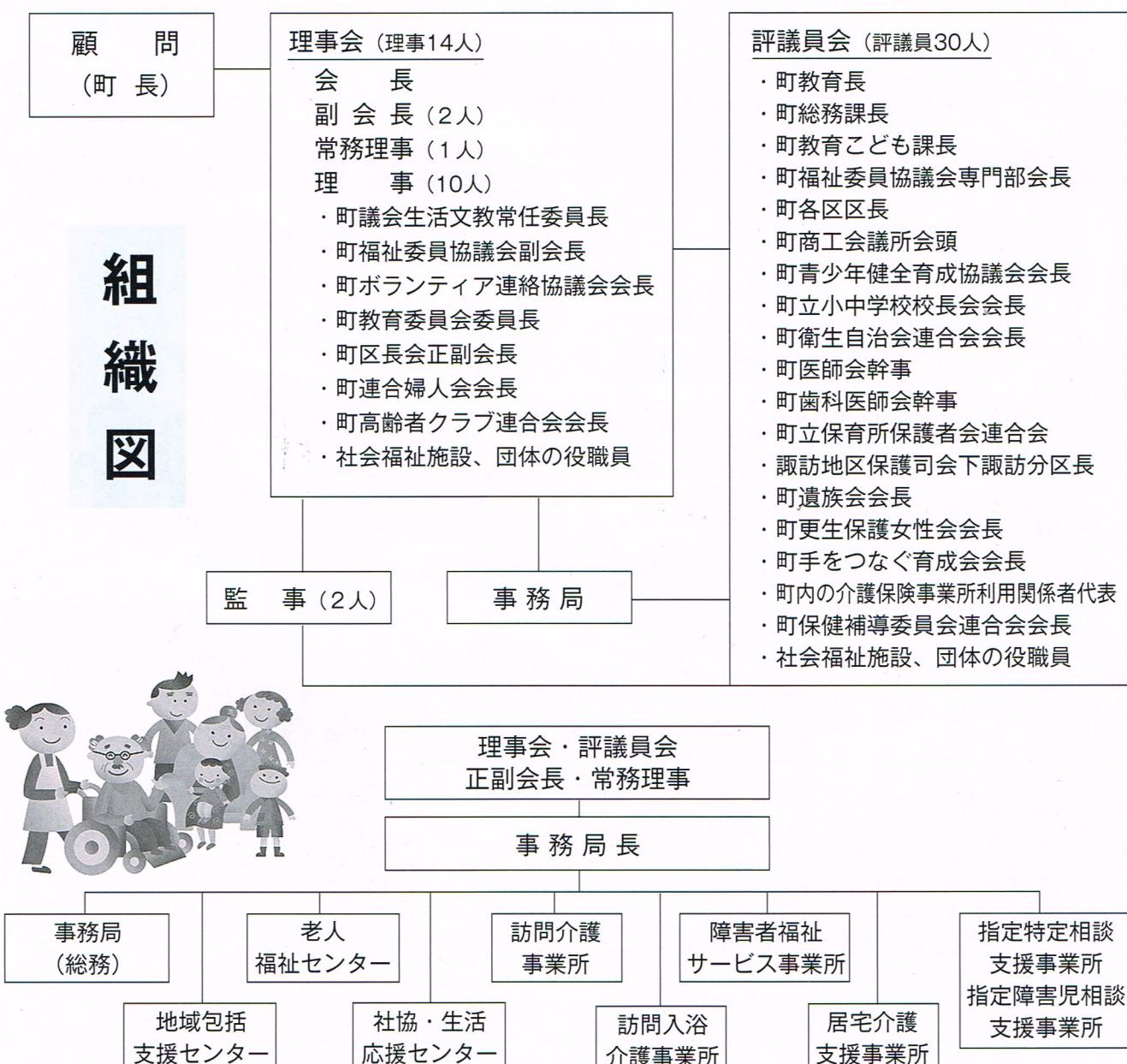
社会福祉協議会（以下、「社協」）は、全国社協が昭和23年に、長野県社協が昭和26年に設立され、併せて関係法令が制定されて以来、順次、全国の市町村に組織化が進みました。下諏訪町社協は、昭和27年に設立、社会福祉法（第109条）に基づく法人として、昭和51年に法人化されて今日に至っています。

2、役割

子どもからお年寄りまで安心して暮らせる福祉の町づくりは、その全てを行政が担うことはできません。社協は民間の福祉団体として、行政だけでは十分に行き届かない領域に対して、地域住民とともに法律や制度の枠にとらわれずに独自の事業を展開して、地域福祉のまちづくりに取り組む団体です。

3、組織

住民の参加を基本として、社会福祉関係者等にさえられ、行政の支援を受けている民間組織としての自主性と、公共性という2つの側面をもった民間非営利組織です。



赤い羽根共同募金

安心安全なまちづくり活動支援配分金 目録贈呈式 を行いました

平成26年度申請のありました、第9区（自主防災会）様に配分させていただきました。

「安心安全なまちづくり活動支援公募配分金」は、地域の防災活動を支援するため、共同募金運動が始まる10月に公募をしており、毎年、各区区長を通じて周知させていただいております。



〈過去に配分を受けた行政区〉

平成22年度：第5区 第7区 平成23年度：第1区 第8区 第10区 平成24年度：第2区

※過去に配分を受けた団体（自治会）は、再度配分は申請できません。（町内会単位なら可能です）

今年度は、町内会単位にも周知をしていきたいと思います。

しもすわ見守りウォーキング講座 参加しませんか？

気軽にできるスポーツとして、ウォーキングを楽しむ方が増えています。

自分の健康のためのウォーキング。ついでにボランティア活動、見守り活動をしませんか。

講座では、ウォーキングに関するもののほか、認知症や特殊詐欺など、地域の見守りについての講座を開催していきます。

講 師（ウォーキング講座）：健康運動指導士 茂 澄 修 さん

※地域の見守りについての講師は、弁護士や認知症サポーター キャラバンメイト等に依頼予定です。

参加費：500円（保険代他） ※初回講座時に集めます。



開催日（予定）	内 容	場所 及び 時間
7月29日（水）	開講式（オリエンテーション） ウォーキングの基本	下諏訪体育館 (午後1時30分～午後3時)
8月12日（水）	靴の選び方とフットケア ウォーキングの基本	下諏訪体育館 (午後1時30分～午後3時)
8月31日（月）	七島八島ウォーキング	八島湿原（午後）

※以降、平成28年3月まで隨時開催していきます。（全10回）

参加の申し込み及び問い合わせ：社協・生活応援センター TEL 27-8886

講演会のお知らせ

認知症とのつきあい方

「認知症になったら怖い・・・」「認知症になったら、何もわからなくなる一方ですよね?」、あるいは「認知症の人にどう接したら良いんですか?」そんな心配の声を皆様から伺うことが多いです。

今年4月、市立岡谷病院院長に、精神科医・認知症専門医で元信州大学医学部附属病院長の天野直二(あまの なおじ)先生が着任されました。認知症についてのわかりやすいお話の講演会をお願いいたしました。

どなたでもご参加いただけますので、お友達ご近所でお説明合わせのうえ、お気軽にお出掛けください。

日 時 平成27年7月30日(木)

13時30分～15時

場 所 下諏訪総合文化センター 小ホール

講 師 市立岡谷病院

院長 天野 直二 先生(精神科医)

主 催 下諏訪町地域包括支援センター

その他 聴講は無料です

講師プロフィール

1975年 横浜市立大学医学部卒業

1981年 横浜市立大学医学部精神医学講座助手

1999年 東京大学大学院医学系研究科助教授

2000年 信州大学医学部精神医学教室教授

2011年 信州大学副学長 信州大学医学部附属病院長

2015年 市立岡谷病院院長 現在に至る

社協健康教室ご参加お待ちしています



7月

講 師：講座① 講師：やまびこスケートの森職員 講座② 講師：社協職員

開催時間：午後1時30分～午後2時30分 ※事前申し込み不要

日	曜日	講座①やまびこ	講座②社協	日	曜日	講座①やまびこ	講座②社協
1	水		菅野町会館	16	木		萩倉公会所
2	木	萩倉公会所		17	金	菅野町会館	
3	金	赤砂公会所		18	土		
4	土			19	日		
5	日			20	月		
6	月		星が丘公会所	21	火	富部公民館	
7	火		富部公民館	22	水	社東町公民館	
8	水	明新館		23	木		
9	木	四王公会所		24	金		
10	金	高木公民館		25	土		
11	土			26	日		
12	日			27	月		
13	月	平和館		28	火		
14	火		社東町公民館	29	水		
15	水			30	木		

【問い合わせ先】

社協・生活応援センター TEL 27-8886

13時
明新館→四王公会所へ

20日は祝日のため、お休みとなります。
振替で、23日に明新館から左記の通り送迎
をしますので、ぜひ、ご参加ください。

四王公会所
清水町公会所
高木公民館



お知らせ



下諏訪町在宅介護支援センター からのお知らせ

在宅介護支援センターでは、実態把握を目的に、昨年度までシルバーネット訪問という形で、75歳以上の人一人暮らしの方のお宅を訪問させていただいておりましたが、今年度は、訪問の幅を広げて、75歳以上の夫婦世帯等も訪問させていただきます。センター職員が訪問や電話をおかけすることがあります、よろしくお願ひいたします。

- | | |
|----------------------------------|------------|
| ・基幹型在宅介護支援センター社協（社会福祉協議会内） | 電話：26-3377 |
| ・下諏訪町在宅介護支援センター（諏訪共立病院内） | 電話：27-1195 |
| ・在宅介護支援センターグレイスフル下諏訪（グレイスフル下諏訪内） | 電話：26-7000 |

【問い合わせ先】

基幹型在宅介護支援センター社協（社会福祉協議会内）
電話：26-3377 担当：横澤

職員紹介



濱 智彦

地域包括支援センター 相談員
(社会福祉士)

社協に勤めて半年。分からないことも多く勉強の毎日です。休日はよくドライブに出掛けます。
よろしくお願ひします。

- この言葉は詐欺です!!
- トラブル解決のため、至急現金が必要
 - 必ず儲かる
 - 口ト6の当選番号を教える
 - 名義を貸してほしい
 - レターパックや宅配便で現金を送れ



(参考：諏訪警察署作成文書)

が発令されています

特殊詐欺 非常事態宣言